

3 - 2 関東南部の地殻変動

Crustal Movement in the South Kanto District

国土地理院地殻調査部

Crustal Dynamics Department, Geographical Survey Institute

1972年12月までの南関東における精密変歪測量で判明した距離変化は、連絡会報第12巻に報告されている。その後1973年、1976年と1978年の3回大島灯台を含む地域の測量が終了したので、その結果を報告する。

1970年7月より1978年12月までの測定結果を第1表に示す。第1図は、最近2年間の距離変化と水平歪を示す。この結果から大島灯台～毘沙門間に多少の距離変化があるほかは、有意な変化は認められない。

参 考 文 献

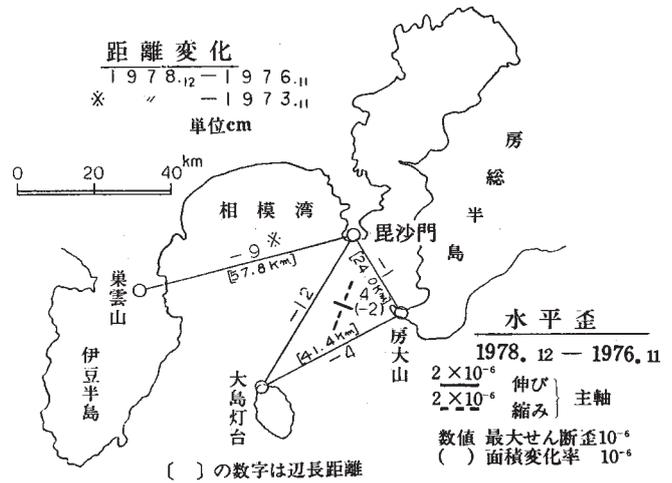
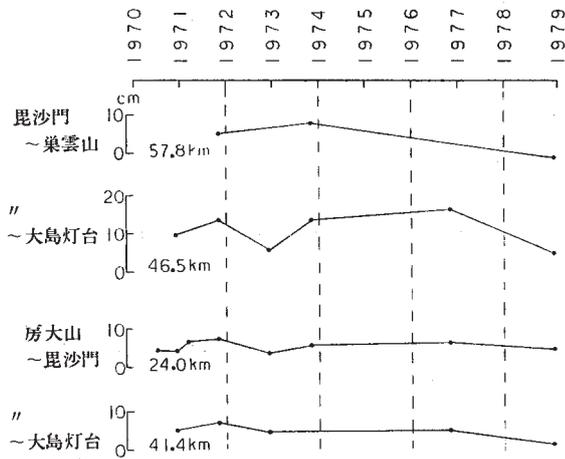
- 1) 国土地理院地殻活動調査室：関東南部における最近の地殻水平変動，連絡会報 **4** (1970)，27 - 31.
- 2) 国土地理院地殻活動調査室，測地部：関東南部における最近の地殻水平変動(2)，連絡会報 **5** (1971)，31 - 34.
- 3) 国土地理院地殻活動調査室，測地部：関東南部における最近の地殻水平変動(3)，連絡会報 **6** (1971)，25 - 32.
- 4) 国土地理院地殻活動調査室，測地部：関東南部精密歪測量中間報告，連絡会報 **7** (1972)，20 - 21.
- 5) 国土地理院地殻活動調査室，測地部：南関東の地殻変動(4)，連絡会報 **8** (1972)，23 - 26.
- 6) 国土地理院地殻活動調査室，測地部：南関東精密歪測量結果，連絡会報 **9** (1973)，40 - 41.
- 7) 国土地理院測地部：関東南部辺長変化，連絡会報 **12** (1974)，33.

第1表 関東南部精密変歪測量結果

Table 1 Results of side-length measurements in the South Kanto District.

測定年 区間	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	距離変化						
	1970. _{.7}	1970. _{.12}	1971. _{.3}	1971. _{.11-12}	1972. _{.12}	1973. _{.11}	1976. _{.11}	1978. _{.12}	VIII-I	VIII-II	VIII-III	VIII-IV	VIII-V	VIII-VI	VIII-VII
毘沙門~巢雲山	57778. ^m	m	m	.43	m	.45	m	.36	cm	cm	cm	-7	cm	-9	cm
" ~大島灯台	46524.	.71		.75	.67	.75	.78	.66		-5		-9	-1	-9	-12
房大山~毘沙門	24045.83	.82	.85	.85	.82	.84	.84	.83	0	+1	-2	-2	+1	-1	-1
" ~大島灯台	41434.	.73		.75	.72		.73	.69		-4		-6	-3		-4

測器 G-8型



第1図 関東南部の距離変化と水平歪

Fig. 1 Distance change and Horizontal strain in the South Kanto District.